

大阪市支部 支援部会 vol.2

大阪市支部 講演会

子どもたちが教えてくれたこと

『絵本『学校コワイ』に込めた思い』

去る2019年1月7日に、本年度をもって解散が決定しております、大阪府支援教育研究会 大阪市支部主催としての最後の講演会が、大阪府立難波支援学校の図書室で開催されました。

講師には、大阪市主催の大阪市教育委員会 第13回『はーと&はーと』絵本原作コンクールで奨励賞受賞の絵本『学校コワイ』の作者(文)である、よつば もこさんをお迎えしました。

よつば もこさんは、高機能自閉症など、発達に違和感をもつお子さんたちを育てる中で学んだこと、実践したことをもとに、一人の親としての体験談と子どもたちが教えてくれたことを伝える活動を精力的に行っております。



また、2016年より、『成人ASD研究会 一般社団法人 高槻ルーロー』代表理事として、支援者として成人ASD当事者とそのご家族と一緒に自己認知を深める研究に日々取り組まれておられます。

講演会では、参加型ワークで会場の参加者同士の雰囲気を和らげた後、よつば もこさんのお子さんたちの学齢期の事例を振り返りながら、同じきょうだいでも、発達障がいの特性の現れ方が違うことや、健常のきょうだい児へのケア、親の会を通して気づいた母親のしんどさ、親への支援の必要性、子どもたちが成人になった今、振り返って思うこと、絵本の製作の経緯などを、保護者としての目線を大事にしながら、様々な角度でお話していただきました。

日ごろ、なかなかお聴きできない、そして、理解しているようで理解できていない保護者の本音や葛藤、願いを分かりやすくお話いただいたこと、また、同じきょうだいであっても、子どもの個性や特性によって、支援の方法がまったく違うこと、そして、正しい知識を得ること、病院や支援機関との連携の大切さを学ばせていただきました。

3学期開始直前忙しい時期での講演会開催でしたが、予想を超える沢山の参加者に恵まれました。

最後に、来年度より、大阪市支部を構成する元大阪市立の支援学校は、それぞれの大阪府支援教育研究会に吸収された形で、研究活動を行っていく予定です。これからも、どうぞよろしくお願いたします。